

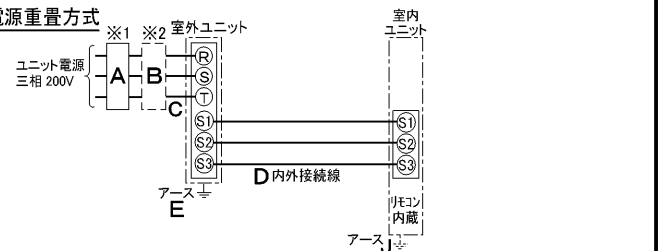
仕 様 表			セ ッ ト 形 名		MPFZ-P224BD(-BS(G))		
電 源	周 波 数	Hz	電 源 ・ 三 相 200V				
冷 房 標 準 性 能	冷 房 能 力	kW	60Hz				
	C O P	—	20.0(10.0~22.4)				
	定 格 消 費 電 力	kW	2.82				
	運 転 電 流	A	7.08				
	力 率	%	22.7				
暖 房 標 準 性 能	暖 房 能 力	kW	90				
	C O P	—	22.4(10.0~25.0)<26.6(14.2~29.2)>				
	定 格 消 費 電 力	kW	3.57<2.54>				
	運 転 電 流	A	6.27<4.47>				
	力 率	%	20.1<31.4>				
暖 房 低 温 性 能	暖 房 低 温 能 力	kW	90<96>				
	暖 房 低 温 消 費 電 力	kW	20.0<24.2>				
C O P (平 均)		—	3.20<2.68>				
最 大 運 転 電 流		A	37.2<49.4>				
室 内 ユ ニ ッ ト	室 内 形 名	MPF-RP224BA2					
	外 形 寸 法 <H × W × D>	mm	1850 × 985 × 400				
	外 装 色 <マ ン セ ル >	—	アイボリー <5Y 8/1>				
	補 助 電 気 ヒ ー タ ー	kW	4.2(別 売)				
	エ ア フ ィ ル タ ー	PPハニカム(抗 菌 仕 様)					
	送 風 機 (形 式 × 出 力 × 個 数)	—	シロココファン × 0.25kW × 1				
	風 量	m ³ /min	弱 48 - 強 60				
	機 外 静 圧	Pa	0				
	風 向 調 節	上 下 方 向	手 動 切 換				
		左 右 方 向	手 動 切 換				
	運 転 音	dB	弱 48 - 強 54				
	製 品 質 量	kg	112				
ド レ ン パ ン	鋼 板						
ド レ ン 配 管 サ イ ズ	—	VP-20					
室 外 ユ ニ ッ ト	室 外 形 名	MPUZ-P224HA3(-BS(G))					
	外 形 寸 法 <H × W × D>	mm	1800 × 900 × 750				
	外 装 色 <マ ン セ ル >	—	アイボリー <3Y 7.8/1.1>				
	圧 縮 機	1 日 の 冷 凍 能 力	法 定 ト ン	0.890 ~ 3.500			
	機 保 護 装 置	—	全 密 閉 × 4.5kW × 1				
	送 風 機 (形 式 × 出 力 × 個 数)	—	吐 出 温 度 検 知、過 電 流 検 知 回 路				
	風 量	m ³ /min	プロペラファン × 0.635kW × 1				
	送 風 機 用 保 護 装 置	—	150				
	運 転 音 (冷 房 / 暖 房)	dB	54 / 56				
	製 品 質 量	kg	198				
共 通 事 項	冷 媒	kg	R410A × 10.5				
	冷 媒 配 管 長	m	30(追 加 チ ャ ージ 時 120)				
	高 低 差	m	40				
	室 内 側 冷 媒 配 管 径 (液 / ガ ス)	mm	φ 9.52 / φ 25.4				
	室 外 側 冷 媒 配 管 径 (液 / ガ ス)	mm	φ 9.52 / φ 25.4				
温 度 設 定 (リ モ コ ン)		冷 房 ・ ド ラ イ 19 ~ 30 ° C / 暖 房 17 ~ 28 ° C					
使 用 温 度 範 囲	冷 房	室 内	乾 球 温 度 19 ~ 32 ° C / 湿 球 温 度 15 ~ 23 ° C				
		室 外	乾 球 温 度 -5 ~ 43 ° C / —				
	暖 房	室 内	乾 球 温 度 17 ~ 28 ° C / —				
		室 外	乾 球 温 度 -20 ~ 21 ° C / 湿 球 温 度 -20 ~ 15 ° C				
セ ッ ト 別 売 形 名							
注 意 事 項							
1. 冷 房 ・ 暖 房 能 力 お よ び 電 気 特 性 は JIS B 8615-1 の 条 件 で 運 転 し た 場 合 の 数 値 で す。 定 格 冷 房 能 力 (室 内 側 : 乾 球 27.0 ° C、湿 球 19.0 ° C、外 気 温 度 : 乾 球 35.0 ° C) 定 格 暖 房 能 力 (室 内 側 : 乾 球 20.0 ° C、外 気 温 度 : 乾 球 7.0 ° C、湿 球 6.0 ° C) 低 温 暖 房 能 力 (室 内 側 : 乾 球 20.0 ° C、外 気 温 度 : 乾 球 2.0 ° C、湿 球 1.0 ° C) 延 長 配 管 7.5m (相 当 長)、高 低 差 0m							
2. 冷 房 ・ 暖 房 能 力 の () 内 は、能 力 変 化 の 値 を 示 し ます。 暖 房 能 力 ・ 低 温 暖 房 ・ 電 気 特 性 < > は、補 助 ヒ ー タ ー 作 動 時 の 値 で す。							
3. 運 転 音 は、JIS 規 格 に 準 じ て、反 響 の 少 ない 無 響 室 で 測 定 し た 数 値 (A ス ケ ー ル) で す。 実 際 に 据 付 け た 状 態 で 測 定 す る と、周 圍 の 騒 音 や 反 響 な どの 影 響 を 受 け、表 示 数 値 より、大 き く な る の が 普 通 で す。							

機外配線要領

機外配線	ユ ニ ッ ト 電 源 (室 外 側)	漏 電 遮 断 器	定 格 電 流	A	50
			定 格 感 度 電 流		A
手 元 開 閉 器	開 閉 器 容 量	B	60		
	B 種 ヒ ュ ー ズ		50		
室 内 ユ ニ ッ ト お よ び ヒ ー タ ー 電 源 (*別 売 ヒ ー タ ー 組 込 時) / 室 内 ユ ニ ッ ト 電 源 (*内 外 別 受 電 接 続 時)	配 線 用 遮 断 器 定 格 電 流	ユ ニ ッ ト 電 源 線 太 さ	C	mm ²	14.0
				内 外 接 続 線 太 さ	50m 以 下
			80m 以 下	mm	φ 2.6
	ア ー ス 線 太 さ	E	mm	φ 2.0	
	電 源	三 相 ・ 200V / 単 相 ・ 200V			
漏 電 遮 断 器	定 格 電 流	G	A	20 / 15	
	定 格 感 度 電 流		mA	30	
手 元 開 閉 器	開 閉 器 容 量	H	A	30 / 15	
	B 種 ヒ ュ ー ズ		A	20 / 15	
配 線 用 遮 断 器 定 格 電 流	電 源 線 太 さ	I	mm ²	3.5 / 2.0	
			内 外 接 続 線 太 さ	K	—
ア ー ス 線 太 さ	J	mm	φ 1.6		
リ モ コ ン 線	F	mm ²	0.3 ~ 1.25		

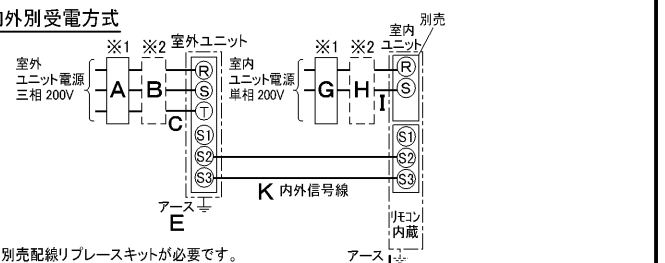
電 気 配 線 図

(1) 電 源 重 置 方 式



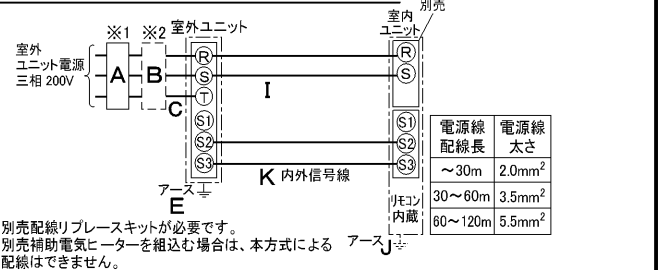
※ 室 内 外 の 渡 り 配 線 の 総 延 長 が 80m 以 上 と な る 場 合 は、電 源 重 置 方 式 で の 配 線 は で き ませ ん。
必 ず (2) 内 外 別 受 電 方 式 又 は (3) 室 外 ユ ニ ッ ト より 室 内 ユ ニ ッ ト に 電 源 を 供 給 す る 方 式 に し て く だ さ い。

(2) 内 外 別 受 電 方 式



※ 別 売 配 線 リ プ レ ス キ ッ ト が 必 要 で す。

(3) 室 外 ユ ニ ッ ト より 室 内 ユ ニ ッ ト に 電 源 を 供 給 す る 方 式



※ 別 売 配 線 リ プ レ ス キ ッ ト が 必 要 で す。

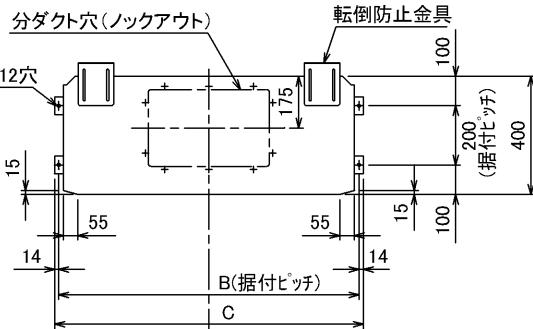
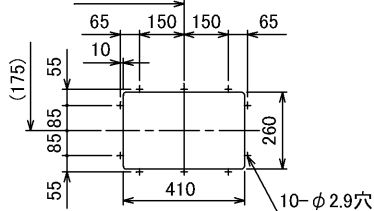
※ 別 売 補 助 電 気 ヒ ー タ ー を 組 込 む 場 合 は、本 方 式 に よ り 配 線 は で き ませ ん。

(2) または (3) の 場 合、S1-S1 間 の 渡 り 配 線 は 絶 対 に 行 わ な い で く だ さ い。

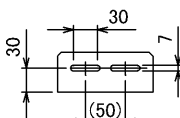
- ※ 1. 電 源 に は 必 ず 漏 電 遮 断 器 を 取 付 け て く だ さ い。
漏 電 遮 断 器 は、イ ン バ ー タ ー 回 路 用 遮 断 器 (三 菱 電 機 製 NV-C シ リ ー ズ ま た は、そ の 同 等 品) を 選 定 し て く だ さ い。
- ※ 2. 漏 電 遮 断 器 が 地 絡 保 護 専 用 の 場 合 に は、漏 電 遮 断 器 と 直 列 に 手 元 開 閉 器 (開 閉 器 + B 種 ヒ ュ ー ズ) ま た は、配 線 用 遮 断 器 が 必 要 と な り ます。
- ・ 電 線 太 さ は、20m ま で の 電 圧 降 下 を 見 込 ん で 選 定 し て あ り ま す の で、20m を 超 え る 場 合 は、電 圧 降 下 を 考 慮 し て 「内 線 規 程」等 に 従 い、お 選 び く だ さ い。
- ・ 電 力 会 社 の 地 区 に よ り 規 制 を 受 け る 場 合 が あ り ま す の で、事 前 に 所 轄 の 電 力 会 社 に お 問 い 合 せ く だ さ い。

空 冷 ヒ ー ト ポ ンプ 式 パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン 仕 様 書		床 置 形				
グ リ ーン 購 入 法 適 合		形 名	< 標 準 仕 様 >	MPFZ-P224BD		
			< 耐 (重) 塩 仕 様 >	MPFZ-P224BD-BS(G)		
三 菱 電 機 株 式 会 社	作 成 日	2006-03-10	図 番	MPFZP224BD-6	副 番	B
						記 号

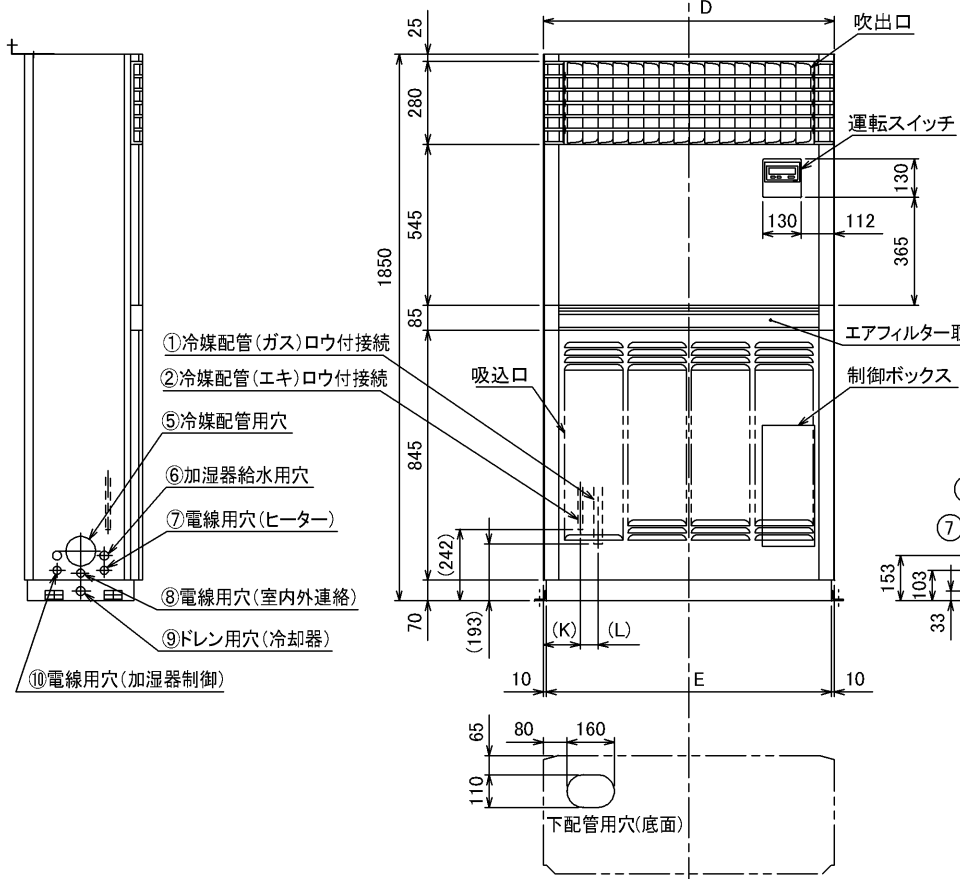
分ダクト穴詳細図
(A)



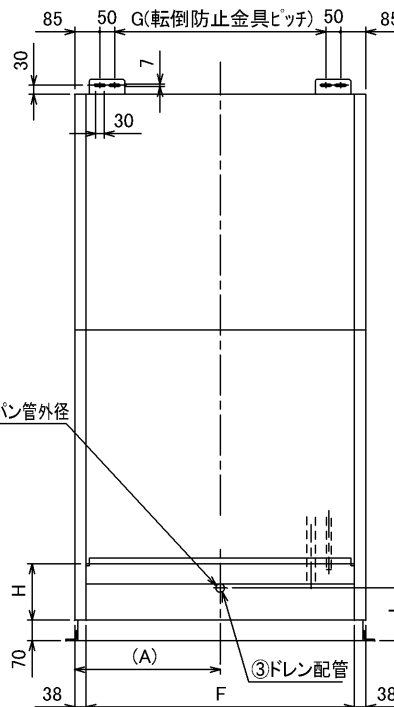
転倒防止金具



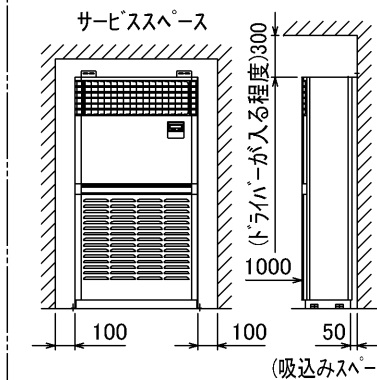
形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
MPF-RP224BA2	492.5	1017	1045	985	965	909	715	80	74	130	55
MPF-RP280BA2	600	1232	1260	1200	1180	1124	930	189	179	129	58



0~100調節可能



室内ユニット周囲必要空間



W660108

単位	スケール	作成日	形名	MPF-RP224・280BA2
mm	NTS	2005-9-9	パッケージエアコン室内ユニット外形図(床置形)	

形名	①ガス配管サイズ	②エキ配管サイズ	③ドレン配管	④冷却器 ドレンパン管外径	⑤冷媒 配管用穴	⑥加湿器 給水用穴	⑦電線用穴 (ヒーター)	⑧電線用穴 (室内外連絡)	⑨ドレン用穴 (冷却器)	⑩電線用穴 (加湿器制御)
MPF-RP224BA2	φ25.4	φ9.52	ドレンホース VP-20 <フレキ接手> (付属)	φ27.2	φ100 ノックアウト	φ30 ノックアウト	φ27 ノックアウト	φ27 ノックアウト	φ30 ノックアウト	φ27 ノックアウト
MPF-RP280BA2		φ12.7								

三菱電機株式会社	図番	7GP162	副番	B	記号
	(形名コード)				

図示番号	区分名	部品名	素材仕様	標準仕様	耐塩害	耐重塩害	表面処理仕様	
1	外装パネル	本体ベース	アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板	○			—	
					○		アクリル樹脂塗装/内外面1回塗装	
		パネル	合金化亜鉛メッキ鋼板	○			アクリル樹脂塗装/内面2回,外面1回塗装	
					○		ポリエステル樹脂塗装/外面1回塗装	
2,3,4,5,6,7					○	アクリル+ポリエステル樹脂塗装/内外面1回塗装		
8		ファンガード	ポリプロピレン樹脂成形品	○	○	○	—	
9		リヤガード	SWM鉄線	○	○	○	ポリエチレン樹脂コーティング	
10	送風機	プロペラファン	AS樹脂ガラス繊維強化成形品	○	○	○	—	
11		モータ	フレーム部	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	有色クロメート処理
			シャフト部	S35C	○	○	○	ラッカー塗料
12		モータサポート	炭素鋼鋼管(STKM11A)	○	○	○	カチオン電着塗装	
13	熱交換器	フィン	プレコートアルミ板	○			—	
					○	○	プレコート仕様:クロメート処理+ビニルセ・コーティング(塩ビ系樹脂コーティング)	
		側板	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	クロメート被膜	
		配管	リン脱酸銅管(C1220T)	○	○	○	—	
		配管溶接部	ロー材:リン銅ロー	○	○	○	—	
14	圧縮機	圧縮機	熱間圧延鋼板	○	○	○	フェノール変成フタル酸樹脂塗装	
15	冷媒配管	配管	リン脱酸銅管(C1220T)	○	○	○	—	
配管溶接部		ロー材:リン銅ロー	○	○	○	—		
17	電気品箱	プリント基板	ガラスコンポジット CEM-3	○	○	○	防湿剤塗布	
18		電気品箱	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	○	○	クロメート被膜	
19	その他	セパレータ(ドレンパン)	アルミ亜鉛マグネシウムメッキ鋼板	○			—	
					○		アクリル樹脂塗装/内外面1回塗装	
				○			アクリル樹脂塗装/内面2回,外面1回塗装	
20		配管支持板	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			クロメート被膜	
					○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装	
—		ネジ(外装)	SWCH18(鉄)	○			亜鉛ニッケル合金メッキ	
			SUS410(ステンレス)		○	○	亜鉛ニッケル合金メッキ	
—		ラベル			○		JRA耐塩害仕様	
						○	JRA耐重塩害仕様	
—	その他板金部品		溶融亜鉛メッキ鋼板	○			クロメート被膜	
					○	○	端面部にエポキシ樹脂塗装	

ご注意

- 海水飛沫及び潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。(設置場所の条件により、ユニットの寿命が異なります。)
- 外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるように配慮してください。(日除けなどを取り付けると雨水による洗浄ができなくなります。)
- 室外機底板内への水の滞留は、著しい腐食作用を促進させる為、底板内の水抜け性を損なわないように、傾きなどを注意してください。
- 海岸地帯へ設置された場合は、付着した塩分等を除去する為に定期的に水洗いを行ってください。
- 据付時、メンテナンス時等に付いた傷は、補修してください。
- 機器の状態を定期的に点検してください。
- 基礎部分の排水性を確保してください。

